

# かぶろう！自転車ヘルメット

名古屋市長議員【中区選出】  
**豊田かおる新聞**

第7号  
**減税日本**



発行所  
〒460-0007 名古屋市中区  
新栄二丁目31番13号  
電話 052-252-0677  
FAX 052-887-8667  
豊田かおる事務所  
編集責任者 豊田孝夫

討議資料

令和3年10月1日に、名古屋市を含む愛知県内で、自転車利用時に全年齢でヘルメット着用が努力義務化されました。ヘルメット購入に際しては2,000円を上限に、補助対象者を7歳～18歳・65歳以上、申請期間を令和4年2月15日までとして、補助制度が設けられていました。しかし、ヘルメット着用努力義務化の条例施行後、ヘルメット着用は市民の間で浸透していないように感じます。また補助金対象者が7歳～18歳・65歳以上と限定的で、中間層のヘルメット購入に補助金が出ないという点は、ヘルメット着用が浸透しない要因になっているのではないのでしょうか。

そこで、どれくらいの市民の方がヘルメット着用をしているのか、その着用状況や、そして市民の方々は着用努力義務化について、どう感じているのか、調査を行いました。

令和3年11月に栄の路上で自転車ヘルメットの着用状況についての調査を行いました。調査の様子や結果は豊田かおる公式YouTubeチャンネルで公開しています。



動画をチェック



## 1 ヘルメットの着用状況調査

ヘルメット着用状況についてカウンターで調査・集計

## 2 独自アンケート調査

「自転車利用時、ヘルメット着用の努力義務化を知っているか」「名古屋市のヘルメット購入補助制度を知っているか」「購入補助制度に年齢制限が設けられていることについてどう思うか」「今後ヘルメットを着用しようと思うか」についてアンケート調査



## 3 街頭インタビュー

自転車を利用している市民の方へ街頭インタビュー

## 4 販売店インタビュー

ヘルメット購入の補助制度に効果が出ているのかどうかを調査するため、自転車販売店の方へインタビュー調査



調査内容

## 調査を終えて…

実際に調査を行ってみると、ヘルメット着用が努力義務化されたものの、市民の方々にはあまり浸透しておらず、どちらかというヘルメット着用には消極的な方が多いように感じ

ました。また、ヘルメット購入補助金制度の対象者が7歳～18歳・65歳以上となっており、中間層に補助金が出ないことも、ヘルメット着用がなかなか進まない要因となっていることが、市民の声から明らかになりました。自転車事故が増加している中、自分の身を守るために自転車利用時にはヘルメット着用が絶対に必要です。市民の方々がヘルメットを購入しやすいよう、ヘルメット購入補助制度の対象年齢制限を廃止し、申請期間の延長も必要なのではないかと感じています。豊田かおる公式YouTubeチャンネルでは自転車の安全で適正な利用の促進について、調査の様子をわかりやすく動画で配信していますので、ぜひご覧ください。

豊田かおる YouTube

検索



豊田かおる  
公式YouTube  
チャンネルはこちら



## ヘルメット着用状況

中区栄におけるヘルメット着用率は…

**2.7% (363人中10人)**

## 独自アンケート調査

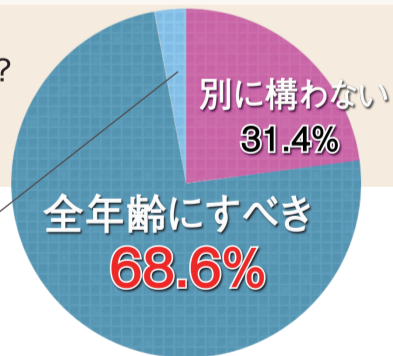
Q. 自転車利用時、ヘルメット着用の努力義務化を知っていますか?  
はい **74.3%** いいえ **25.7%**

Q. 名古屋市のヘルメット購入補助制度を知っていますか?  
はい **31.4%** いいえ **68.6%**

Q. 購入補助制度に年齢制限が設けられていることについてどう思いますか?  
別に構わない **31.4%**  
全年齢にすべき **68.6%**  
もっと限定すべき **2.9%**

Q. 今後ヘルメットを着用しようと思いますか?  
はい **28.6%** いいえ **17.1%**  
どちらともいえない **54.3%**

購入補助制度に年齢制限が設けられていることについてどう思いますか?



## 街頭・販売店インタビュー

▼市民の方へ街頭インタビューし、ご意見を伺いました。

「ヘルメットの着用が努力義務化されたことは知っている」「ヘルメット着用はするつもり」というヘルメット着用に関する肯定的な意見がある一方、「努力義務ではなかなか着用しないと思う」「髪型が崩れる」「子どもがいるなかでの着用は難しいと思う」といった消極的な意見もありました。またヘルメット購入の補助金についても、「支給対象者ではない年齢の人も含めて、補助金が出るようになれば普及率は上がると思う」という意見がありました。

▼自転車販売店の方へインタビューし、ヘルメット購入の現状を伺いました。

自転車販売店の方からお話を伺うと、「ヘルメット自体の売上は増えており、小さいお子様の保護者や50代以上からの問い合わせは増えたものの、購入年齢にかたよりが見られる」といった事実が明らかになりました。

調査結果

